

付録.B.4 期割情報のチェック仕様

期割情報のチェック仕様を次の表に示します。

表 B-4 期割情報のチェック仕様

No.	チェック項目	エラーレベル	エラーコード	チェック条件	エラー内容
1	徴収方法区分コード	エラー	KCM5013E	徴収方法区分コードが存在するコードであることをチェック	徴収方法区分エラー
2	期別番号	エラー	KCM5006E	徴収方法が特別徴収の場合、期別番号は 01～06 であることをチェック 徴収方法が普通徴収の場合、期別番号は 2 桁の数字からなる文字列であることをチェック	期別番号エラー
3	期割情報種別	エラー	KCM5032E	期割情報種別が存在するコードであることをチェック	徴収区分エラー
4	納期限年月日	エラー	KCM5034E	徴収方法が特別徴収の場合、納期限年月日はスペースであることをチェック 徴収方法が普通徴収の場合、納期限年月日が存在日であることをチェック	納期限年月日エラー
5	保険料期割額	エラー	KCM5018E	保険料期割額は 0 以上の数値を表す文字列であることをチェック	保険料期割額エラー
		警告	KCM5043W	期割情報種別が賦課確定分であるレコードが 1 件以上送信されている場合、賦課合計額と保険料期割額の合計が一致していることをチェック	賦課合計額と期割額合計一致しません。
		警告	KCM5069W	徴収方法が普通徴収の場合、平成 20 年 4 月から 9 月の間に納期限年月日がある期割情報で保険料期割額が 1 円以上であるときに、被用者保健被扶養者に該当していないこと（被保険者データベースの被扶養者軽減開始年月日に日付が設定されていないこと） 徴収方法が特別徴収の場合、1 期から 3 期までの期割情報があり、その期割額が 1 円以上であるときに、被用者保健被扶養者に該当していないこと（被保険者データベースの被扶養者軽減開始年月日に日付が設定されていないこと）	特別措置対象者の可能性があります。
6	異動区分	エラー	KCM5001E	異動区分が存在するコードであることをチェック	異動区分単項目エラー
		エラー	KCM5002E	広域連合側に期割情報がない期の場合、異動区分は新規であることをチェック 既に広域連合側に期割情報がある期の場合、異動区分は修正であることをチェック	異動区分エラー

No.	チェック項目	エラーレベル	エラーコード	チェック条件	エラー内容
7	賦課年度・相当地度	エラー	KCM5016E	徴収方法が特別徴収の場合、賦課年度=相当地度であることをチェック	賦課年度と相当地度が不一致です。
		エラー	KCM5011E	徴収方法が普通徴収の場合、賦課年度>=相当地度であることをチェック	相当地度が賦課年度より大きい。
8	期割情報	エラー	KCM5007E	既に広域連合側に期割情報がある期すべてが送信されていることをチェック	期割情報が不足している。
		エラー	KCM5008E	同じ徴収区分でかつ同じ期のデータが複数個送信されていないことをチェック	期割情報重複エラー
		エラー	KCM5045E	期割情報種別が賦課確定分であるレコードが1件以上送信されている場合、対応する賦課情報が存在していることをチェック	賦課情報が存在しません。
		警告	KCM5053W	この被保険者の期割情報に、徴収猶予中のものがないことをチェック	この被保険者は徴収猶予中です。
9	賦課管理番号	エラー	KCM5070E	賦課管理番号は、数値（2桁）であることをチェック	賦課管理番号の内容に誤りがあります。
10	被保険者番号	エラー	KCM5071E	被保険者番号は、数値（8桁）であることをチェック	被保険者番号の内容に誤りがあります。

注1 エラーリストが出力される前に異常終了した場合、異常終了の原因となっているエラーは下記のことと想定されますので、実行環境、あるいは入力ファイルの確認を行ってください。

- ・レコード識別子が1（ヘッダ）、2（データ）、3（トレイラ）のいずれでもない。
- ・ヘッダレコードが存在しない。
- ・トレイラレコードが存在しない。

注2 トレイラのレコード件数が入力件数と一致していない場合、「KCM5055E データ件数不一致エラー」が期割情報連携結果リストに出力されます。なお、このとき、該当する市区町村のレコードは登録されません。

付録.B.5 収納情報のチェック仕様

収納情報のチェック仕様を次の表に示します。

表 B-5 収納情報のチェック仕様

No.	チェック項目	エラー レベル	エラー コード	チェック条件	エラー内容
1	集計年度	エラー	KCM5009E	集計年度は4桁の数字からなる文字列であることをチェック	集計年度エラー
2	納入方法コード	エラー	KCM5036E	納入方法コードが存在するコードであることをチェック（設定時）	納入方法エラー
		エラー	KCM5037E	徴収方法が普通徴収でかつ還付充当区分がスペースの場合、納入方法コードが設定されていることをチェック	納入区分エラー
		エラー	KCM5038E	徴収方法が特別徴収の場合、納入方法コードはスペースであることをチェック	納入方法コードエラー
3	還付充当区分	エラー	KCM5024E	還付充当区分が存在するコードであることをチェック（設定時）	還付充当区分エラー
4	領収年月日	エラー	KCM5047E	領収年月日が存在日であることをチェック（設定時）	領収年月日エラー
5	収納年月日	エラー	KCM5029E	収納年月日が存在日であることをチェック	収納年月日エラー
6	領収年月日・収納年月日	エラー	KCM5046E	領収年月日<収納年月日であることをチェック（設定時）	領収日に対する収納日が不正
7	賦課年度・集計年度	エラー	KCM5010E	賦課年度<集計年度であることをチェック	集計年度が賦課年度より小さい
8	還付充当区分	エラー	KCM5023E	徴収方法が普通徴収でかつ納入方法コードがスペースの場合、還付充当区分が設定されていることをチェック	納入方法・還付充当区分エラー
		エラー	KCM5005E	徴収方法が普通徴収でかつ納入方法コードがスペース以外の場合、還付充当区分はスペースであることをチェック	還付充当区分エラー
9	保険料収納済額	エラー	KCM5014E	納入方法コードが誤消取消の場合、保険料収納済額はマイナスであることをチェック	納入方法と保険料収納済額が一致していない
				納入方法コードがスペース以外でかつ誤消取消以外の場合、保険料収納済額はプラスであることをチェック	
				徴収方法が特別徴収でかつ納入方法コードと還付充当区分がスペースの場合、保険料収納済額はプラスであることをチェック	
		エラー	KCM5019E	還付充当区分が取消の場合、保険料収納済額はマイナスであることをチェック	還付充当額エラー
		エラー	KCM5020E	還付充当区分がスペース以外でかつ取消以外の場合、保険料収納済額はプラスであることをチェック	
				保険料収納済額は数値を表す文字列であることをチェック	保険料収納済額エラー

No.	チェック項目	エラー レベル	エラー コード	チェック条件	エラー内容
9	保険料収納済額 (続き)	警告	KCM5049W	保険料収納済額がマイナスにならないことをチェック	収納済額がマイナス値となる
		警告	KCM5021W	保険料期割額>=保険料収納済額の累計であることをチェック	過誤納エラー
10	滞納状態コード	警告	KCM5048W	不納欠損されていないことをチェック	既に不納欠損状態である。
11	期割情報	エラー	KCM5025E	対応する期割情報が存在することをチェック	期割情報が存在しない

注 1 エラーリストが出力される前に異常終了した場合、異常終了の原因となっているエラーは下記のことと想定されますので、実行環境、あるいは入力ファイルの確認を行ってください。

- ・レコード識別子が 1 (ヘッダ)、2 (データ)、3 (トレイラ) のいずれでもない。
- ・ヘッダレコードが存在しない。
- ・トレイラレコードが存在しない。

注 2 トレイラのレコード件数が入力件数と一致していない場合、「KCM5055E データ件数不一致エラー」が収納情報連携結果リストに出力されます。なお、このとき、該当する市区町村のレコードは登録されません。

付録. B. 6 滞納者情報のチェック仕様

滞納者情報のチェック仕様を次の表に示します。

表 B-6 滞納者情報のチェック仕様

No.	チェック項目	エラー レベル	エラー コード	チェック条件	エラー内容
1	滞納状態コード	エラー	KCM5031E	滞納状態コードが存在するコードであることをチェック	滞納状態コードエラー
		警告	KCM5048W	不納欠損状態からの滞納状態の変更がなされないことをチェック	既に不納欠損状態である。
2	督促状発行年月日	エラー	KCM5033E	督促状発行年月日が存在日であることをチェック（設定時）	督促状発行年月日エラー
3	催告書発行年月日	エラー	KCM5028E	催告書発行年月日が存在日であることをチェック（設定時）	催告書発行年月日エラー
4	督促年月日・催告年月日	警告	KCM5027W	督促年月日<催告年月日であることをチェック（設定時）	督促日に対する催告日が不正
5	不納欠損年月日	エラー	KCM5042E	不納欠損年月日が存在日であることをチェック（設定時）	不納欠損年月日エラー
		エラー	KCM5068E	滞納状態コードが不納欠損の場合、徴収猶予中に不納欠損年月日が設定されていないことをチェック	徴収猶予中であり不納欠損できない。
6	不納欠損事由コード	エラー	KCM5041E	不納欠損事由コードが存在するコードであることをチェック（設定時）	不納欠損事由エラー
		エラー	KCM5017E	滞納状態コードが不納欠損の場合、不納欠損事由コードが設定されていることをチェック 滞納状態コードが不納欠損以外の場合、不納欠損事由コードはスペースであることをチェック	不納欠損エラー
7	不納欠損額	エラー	KCM5039E	不納欠損額は数値を表す文字列であることをチェック（設定時）	不納欠損額エラー
		警告	KCM5040W	滞納状態コードが不納欠損の場合、不納欠損額が未納額と一致していることをチェック	不納欠損額が未納額と一致しない
8	不納欠損年月日・不納欠損事由コード・不納欠損額	エラー	KCM5017E	不納欠損年月日、不納欠損事由コード、および不納欠損額が、すべて設定されるか、すべてスペースかのいずれかであることをチェック	不納欠損エラー
9	催告年月日・不納欠損年月日	警告	KCM5026W	催告年月日<不納欠損年月日であることをチェック（設定時）	催告日に対する不納欠損日が不正
10	未納額	警告	KCM5030W	滞納状態コードが滞納の場合、未納額があることをチェック	滞納であるが未納額がない
11	納期限	警告	KCM5022W	納期限が未到来期でないことをチェック	納期限が未到来期である。
12	期割情報	エラー	KCM5025E	対応する期割情報が存在することをチェック	期割情報が存在しない

注 1 エラーリストが出力される前に異常終了した場合、異常終了の原因となっているエラーは下記のことが想定されますので、実行環境、あるいは入力ファイルの確認を行ってください。

- ・レコード識別子が 1（ヘッダ）、2（データ）、3（トレイラ）のいずれでもない。
- ・ヘッダレコードが存在しない。
- ・トレイラレコードが存在しない。

注 2 トレイラのレコード件数が入力件数と一致していない場合、「KCM5055E データ件数不一致エラー」が滞納者情報連携結果リストに出力されます。なお、このとき、該当する市区町村のレコードは登録されません。